

平成 30 年 7 月

関係各位様

2018 年度 建設マネジメント委員会 研究成果発表会・将来ビジョン特別小委員会最終報告・表彰式
開催のお知らせ

建設マネジメント委員会

土木学会 建設マネジメント委員会（委員長 木下 誠也）では、多数の研究小委員会（2018 年度：14 テーマ）を設け、建設マネジメントに関する研究活動を実施しております。これらの研究成果を広く社会に還元するため、本年も表彰式と併せて研究成果発表会を開催します。貴組織の関係者の皆様にもご案内いただければ幸いです。多数のご参加をお願いいたします。なお、本発表会は「土木学会認定 CPD プログラム」の対象となっております。

行 事 名：2018 年度 建設マネジメント委員会 研究成果発表会・表彰式

行事コード：45805

主 催：土木学会 建設マネジメント委員会

日 時：平成 30 年 8 月 1 日（水）13:00～17:30（終了時刻は変更する可能性があります）

場 所：土木学会講堂 新宿区四谷 1 丁目（外濠公園内）TEL 03-3355-3559

参 加 費：無 料

定 員：120 名（申込先着順）

申 込 方 法：土木学会行事の HP (<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>) からお申し込み下さい。

申込締切日：平成 30 年 7 月 25 日（水）

問 合 先：(社) 土木学会 研究事業課 建設マネジメント委員会担当：杉岡

TEL：03-3355-3559 / E-mail：sugioka@jsce.or.jp

詳 細：発表会プログラムは次頁以降参照。

2018 年度 建設マネジメント委員会

研究成果発表会

将来ビジョン特別小委員会最終報告 表彰式

主 催:土木学会 建設マネジメント委員会

日 時:平成 30 年 8 月 1 日(水) 13:00~17:30 (終了時刻は変更する可能性があります)

場 所:土木学会講堂

〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目外濠公園内 TEL 03-3355-3559

(JR「四ツ谷」駅の四ツ谷口より徒歩 3 分、地下鉄南北線「四ツ谷」駅の 3 番出口より徒歩 3 分、地下鉄丸の内線「四ツ谷」駅より徒歩 5 分)(<http://www.jsce.or.jp/contact/map.shtml> にて地図を入手できます。)

参加費:無料

申 込:下記のページからお申し込み下さい

(<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>)

13:00~13:05

開会の挨拶 :建設マネジメント委員会 木下 誠也 委員長

【表彰式】

13:05~13:15

表彰発表 :表彰小委員会 松本 直也 小委員長

13:15~13:20

表彰状授与 :建設マネジメント委員会 木下 誠也 委員長

13:20~13:40

論文賞・論文奨励賞 受賞論文概要紹介

13:40~13:50

グッド・プラクティス賞 概要紹介

13:50~14:00

優秀講演賞 受賞者紹介

14:00~14:15

休 憩

**【研究小委員会の部】 ※プログラムは変更になる可能性があります。
※時間に質疑 5 分程度を含みます。**

14:15~14:55 (40分)	インフラ PFI/PPP 事業の VFM の源泉とそれによるマネジメント
<p><テーマのポイント> PFI/PPP 事業における VFM を用いた管理手法の提案</p>	
<p><発表内容> PFI/PPP 事業などにおいて公共事業を調達する時には、VFM を計測する。支払いに対する提供サービスの価値の割合として定義されるが、実際には支払いの差で計算されることが多い。本研究では、価値にも着目範囲を広げ、インフラ PFI/PPP 事業における VFM の源泉を改めて整理し、VFM を単に計測すべき指標としてではなくマネジメント指標として捉えたときのバリューエンジニアリングによる事業運営の方向性について提案する。</p>	
インフラ PFI/PPP 研究小委員会 (第 1 種)	宮本 和明 (パシフィックコンサルタンツ)、北詰 恵一 (関西大学)、大西 正光 (京都大学)

14:55~15:20 (25分)	公共事業における技術力結集に関する研究中間報告
<p><テーマのポイント> 発注者・設計者・施工者の技術力の結集に不可欠な事業のマネジメント能力を明らかにし、発注者の能力が不足する場合に必要な技術力補完方策を検討する。</p>	
<p><発表内容> 研究小委員会のこれまでの研究活動や検討の経緯を紹介するとともに、これまでに行った市町村幹部職員の発注体制に関するヒアリング結果や米国などで明らかにされているマネジメント能力の要件の例などについてとりまとめて報告する。</p>	
公共事業における技術力結集に関する研究小委員会 (第 1 種)	木下 誠也 (日本大学)、関 健太郎 (国土技術政策総合研究所)、早川 裕史 (長大)

15:20~15:35 (15分)	建設・環境系問題事例における安全文化とマネジメントに関する研究 (中間報告)
<p><テーマのポイント> 昨今の建設・環境系問題事例である豊洲移転問題や博多道路陥没事故等は何故発生し、背景には何が潜在していたのか。また安全文化はどうあるべきなのか。これらを解決するためにマネジメント手法を導入した調査・研究が必要である。</p>	
<p><発表内容> 益々複雑化する建設事業を円滑に進めるには、個々の建設事業で培った知識や技術等の共有が重要であり、個々を束ねるマネジメント手法の導入が必須であると考え。今回は上位のマネジメントであるポートフォリオマネジメントについて、活用状況を探る。大手総合建設会社の有価証券報告書の記載内容から、建設産業がポートフォリオマネジメントをどの程度活用されているのか、現状を経営的観点から考察した。</p>	
環境修復事業におけるプログラムマネジメント研究小委員会 (第 2 種)	下池 季樹 (国際航業)

15:35~15:50

休 憩

15:50~16:10
(20分)

日本会計基準採用企業以外の特徴と工事進行基準の工事進捗度に関する一考察

<テーマのポイント>

- ・国際会計基準採用の日本企業の特徴
- ・のれんに対する考え方の相違
- ・工事進行基準における工事進捗度の測定方法

<発表内容>

国際会計基準（IFRS）及び米国会計基準を採用している企業の特徴を確認すると、建設業は全く含まれていない。しかし、複数期にわたる大規模建設工事の進捗に係る財務情報が適正にステークホルダーに公開されているかどうかということが論点となる。そこで、国内の東証一部上場企業における財務報告状況を日本基準、IFRS、米国会計基準（US GAAP）に区分し、その中でのれんに関する考え方の相違及び工事進捗度の測定に関して検討した。その結果、のれんの考え方の相違は企業により顕著に現れ、工事進捗度の信頼性を向上させ恣意性を低減させるためにはEVMを用いて工事進捗度を管理する方法が必要とされる。

工事進行基準研究小
委員会（第2種）

山田 貴久（東京ガスエンジニアリングソリューションズ）

16:10~16:40
(30分)

高い能力を有する技術者へのインタビュー実施状況(中間報告)

<テーマのポイント>

「高い建設マネジメント力を有する技術者」に対し修羅場体験等を聞き出すインタビューの実施状況について報告する。

<発表内容>

- ・技術者インタビューの目的、実施方法等について
- ・インタビューの実施概要（対象技術者51人、インタビュアー36人）
- ・建設マネジメント力がステップアップすることになった出来事（経験）について、インタビュー結果の概要（修羅場の類型化等）
- ・建設マネジメント力が高い人の共通の行動特性について、インタビュー結果の概要
- ・建設マネジメント力の能力要素について、インタビュー結果の概要

建設マネジメント力
研究小委員会（第3
種）

木下 賢司（熊谷組）

16:40~17:20
(40分)

将来ビジョン特別小委員会成果報告
～若手技術者が描く土木の将来ビジョン～

<テーマのポイント>

産官学の若手技術者が議論した将来ビジョンとその実現のためのアクションプランについて報告する。

<発表内容>

1. 将来ビジョン特別小委員会の活動概要

建設業界の将来ビジョンについて、産官学の若手技術者を集めて議論した内容、議論の経緯、及びその成果（将来ビジョン）を報告する。

2. 将来ビジョンの普及活動

将来ビジョンの普及のために実施した、他組織と連携、講演などについて報告する。

3. 将来ビジョンの実現に向けて

将来ビジョン実現のためのアクションプランについて報告する。

将来ビジョン特別小委員会

秀島 喬博（大林組），郷田 智章（長大），マエムラユウ（東京大学）
伊藤 昌明（オリエンタルコンサルタンツ），堀 仁（建設技術研究所）

17:20~17:30

閉会の挨拶 : 運営小委員会 佐々木 政彦 小委員長



■問い合わせ
:公益社団法人 土木学会
研究事業課 建設マネジメント委員会
担当 杉岡

〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目外濠公園内
TEL:03-3355-3559
E-mail:maruhata@jsce.or.jp

